

World News

ロケット関連ニュース

1. Arianespace は、DIRECTV 7S 衛星
打上げサービスを提供すると発表した
Arianespace 社は 2003 年 10 月 30 日 Sea
Launch に代わり 2004 年第 1 四半期に
DIRECTV 7 衛星の打上げを行なうと発表
した。 Arianespace 社は、新しく合意さ
れた Sea Launch 社との打上げ協定に基づ
き DIRECTV 7 打上げサービスを
DIRECTV に提供する。 2003 年 7 月に発
表された打上げサービス協定は 3 つの主要
打上げサービス会社は連携し、-契約通りの
打上げと全体ミッション保証を、顧客に提
供するシステムである。 協定を結んだ 3
社は Arianespace 社、Boeing Launch
Service 社、および三菱重工業(株)である。
衛星製造工程での遅延により、Sea Launch
での予定打上げスケジュールを確保できな
い見通しとなった為、DIRECTV 7 衛星は、
打上げサービス協定に基づいて
Arianespace に、Sea Launch 社打上げ予定
であった DIRECTV 7S 衛星打上げを
DIRECTV 社が許可した。 打上げサービス
協定は、顧客に対し On-Time での打上げを
保証する為に、前記 3 社によって、二重、
三重に相互にカバーし、顧客サービスを提
供するシステムである。

- Ariane 2003.10.30 プレスリリース記事 -

2. Orbital 社は NASA からペガサス及び
トーラスでの衛星打上げ契約を受注
NASA は 2 機のペガサスロケット及び 2 機の
トーラスロケットでの 2006 年及び 2007 年

の科学衛星打上げ契約 Orbital 社と取り交
わした。 Orbital 社 (ダレス、VA2003 年
10 月 30 日 NYSE : ORB) は米国航空宇宙局
(NASA) が、2006 年から 2 年間の米国政府
科学衛星ミッションのために 2 のペガサス
ロケットおよび 2 機のトーラスロケットを
含む 4 機の衛星打上げロケットを契約した
と発表した。 契約は、1998 年の NASA
Kennedy Space Center によって Orbital 社
に授与された小形消耗品打上げロケットサ
ービス (SELVS) 契約に基づくものである。
2 機のペガサスロケットは、NASA の Space
Technology-8 (ST-8) および Small
Explorer-10 (SMEX-10) ミッション衛星の
打上げに使用される。 2 機のトーラスロケ
ットは Orbital 社のダレス工場において、
現在開発、製造中の NASA 衛星を打上げに使
用される。 2 機トーラスロケットの最初の
打上げは、NASA ゴダード宇宙飛行センター
の GLORY 衛星を打上げる。 2 番目のトーラ
スロケットはジェット推進研究所の衛星周
回軌道上炭素観測衛星の打上げに使用され
る。 これらの新しい打上げロケットの発注
を含め、NASA は、1991 年から 12 年間で 25
機のペガサス、トーラス及び関連ロケット
を Orbital 社から購入した。 これらの 14
機のロケットは打上げられ、11 機は 2004
年から 2008 年に打上げを予定されている。
ペガサスロケットについて :

ペガサスは、低軌道に 1000 ポンドまでの重
さの小型衛星打上げ用に用いられているロ
ケットシステムである。

打上げは Orbital 社の「Stargazer, L-1011
航空機に搭載され海洋上の高空で切り離さ
れ発射されるシステムである。最初の打上
げは 1990 年である。

トーラスロケットについて：

トーラスは地上からの打上げようが開発された小型ロケットで、3000 ポンドまでのペイロードを低軌道に打上げる能力がある。最初の打上げは 1994 年である。

- Orbital 2003.10.30 プレスリリース記事 -

衛星関連ニュース

1. SAT 社は通信衛星「Horizons-1」の打上げに成功したと発表した。

JSAT 株式会社（以下 JSAT、本社：東京都千代田区、代表取締役社長：磯崎 澄）は PanAmSat Corporation（以下 PAS、本社：米国）と共同で保有する通信衛星

「Horizons-1」を日本時間本日午後 01 時 03 分、西経約 154 度の赤道（ハワイの南およそ 2,240km の海上）から、シー・ローンチ社(米国)のロケットによって無事打ち上げられ、ロケットからの切り離しに成功



Horizon-1 衛星 Photo BSS 提供
したと発表した。また、イタリアの地球局にて「Horizons-1」からの初めての電波を

捕捉し、衛星が予定通りの軌道を順調に飛行中であることが確認された。

Horizons-1 の主要諸元：

軌道： 西経 127 度
衛星： Boeing-601HP
中継器本数： Ku-Band 36MHz 24 本
中継器出力： Ku-Band 108W
サービスエリア： 北米、ハワイ

JSAT 2003.10.1 プレスリリース記事

2. EADS Astrium は Skynet 5 を受注

EADS Astrium 社は 2003 年 10 月 24 日 Paradigm Secure Communications (PSC) 社と UK MOD との Skynet 5 の民間金融融資契約に続いて次期軍事衛星通信システム Skynet 5 の供給に対し PSC と契約をした事を発表した。



▲ Skynet 5 Photo EADS Astrium 提供
これは、EADS Astrium が、2 機の Skynet 5 衛星の設計製造と地上局の更新及び追加の衛

星通信ターミナルに対する主契約者となるものである。この契約に基づいて、UK MODは今後15年の間、PSCから衛星通信サービスを調達する。シームレスな変換を実現する為に、Paradigm ServiceはすでにMODから残る2001年2月に打上げられたSkynet 4衛星及び夫々2006年、2007年に打上げられるSkynet 5A及び5B衛星の運用・管理をEADS Astriumから移管された。

Skynet 5衛星は大西洋とインド洋の間のGEOに配置され、南アメリカから極東で音声及びデータ通信サービスを提供しており、UK軍及びその他の同盟国で使用されている。

Skynet 5衛星は高出力のEurostar 3000BUSで、打上げ時重量は約5トンでSkynet 4より1.6トン重い。太陽電池アレーは約30メートルで、発生電力は5kWでSkynet 4の4倍の能力がある。通信システムは、UHF及びSHFの15チャンネルを運用し、グローバルビーム、地域ビームを放射する為の多重アンテナを搭載している。

- EADS Astrium 2003.10.24 プレスリリース記事

3. 環境観測技術衛星「みどりII」異常発生

宇宙航空研究開発機構（JAXA）では、10月25日（土）における「みどりII」の異常発生



▲ みどりII衛星 Photo JAXA 提供

を受け、これまで、衛星復旧を目指してコマンド送信を継続するとともに、衛星状態の解析を実施し、観測運用の復旧可能性を検討してきたが、10月31日現在まで衛星との交信ができていないこと、及び衛星状態の解析結果を踏まえ、「みどりII」の観測運用が復旧する見込みは極めて少ないと判断した。同機構では、今後も原因究明のために、衛星との交信及びその状態把握に努めるとともに、徹底した原因究明を行い、再発防止に全力で取り組んでいく事を表明した。また、「みどりII」の利用者の方々には、これまで約9ヶ月間の観測で蓄積されたデータを提供するなど、その最大限の利用が図られる。更に、地球観測サミットで示された地球環境問題への取り組みの重要性から、文部科学省、宇宙開発委員会、関係機関とご相談して、今後の地球観測計画の進め方を検討すると発表した。

- JAXA 2003.10.31 プレスリリース記事 -